

目標達成計画

作成日: 平成 28年 5月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	利用者と地域住民が顔馴染みとなれるよう取り組んでいるが、地域密着型の特色を活かした事業所独自の理念を全職員で話し合い、作成することが望まれる。	会社の理念とは別に地域密着型の特色を活かした施設独自の理念を作成する。	職員間でのミーティングや運営推進会議等で話し合いを設け理念を作成し、職員間での周知、徹底を行う。	4ヶ月
2	6	身体拘束による弊害を考え、家族から安全のため拘束の要望があった場合であっても、その弊害を説明し、事業所の工夫や取り組み方針を示し、家族の納得の上、自由な暮らしの支援への話し合いを望む。	本人又は他の入居者等の生命又は身体に危険にさらされる可能性がある場合以外の身体拘束の撤廃。	月1回のモニタリングや職員への聞き取り調査を実施し、代替え案の検討。精神状況によっては主治医へ相談し、内服薬の調整。	6ヶ月
3		入居者の生活状況が面会時だけでは把握ができない。	普段の様子や行事等での様子を写真に収め、お便り等を作成し、ご家族に送付する。	普段の生活や行事等での様子を写真に収め請求書に同封(お便り等の写真は個人情報に配慮し、希望者のみとする)。月に一度の電話連絡や面会時にご家族への状態報告を行う。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。